

**【1 Day for Others】**



# 1 Day for Others 活動報告

## 1. 1 Day for Others の概要

本学の教育理念である“Do for Others”を  
実践するイベントとして、今年度で4回目を迎  
えた1 Day for Others (以下1 Day) では、  
「1日ボランティア」「1日インターン」に参加  
することで社会の課題や人と人が助け合う  
重要性など、参加した学生それぞれに新た  
な気付きを見つけてもらうことを目的とし  
て活動している。

明治学院大学ボランティアセンターが毎  
年実施している新入生へのアンケートで  
は、2014年には約75%の学生が大学生時  
代にボランティアに参加したいと答えてい  
ることから、気軽に参加できる1 Day が担  
う役割は非常に大きいと思われる。

右図に示したように、学生には3つの立場が存在する。参加学生は、用意されている多種多様なプログラムを自分の興味に合わせて選り参加することとなる。そのプログラム1つ1つにはリーダー学生がおり、実施日の3ヶ月前から受け入れ先との担当プログラムの企画立案や、当日の参加学生の引率等をおこなう。さらに、そのリーダー学生たちの身近な相談役を担ったり、ボランティアセンターと頻りにミーティングを行い、提案を行ったりする運営委員がいる。1日だけの催しではあるが、それまでに学生は様々な立場で多くのことを学ぶ機会が設けられている。

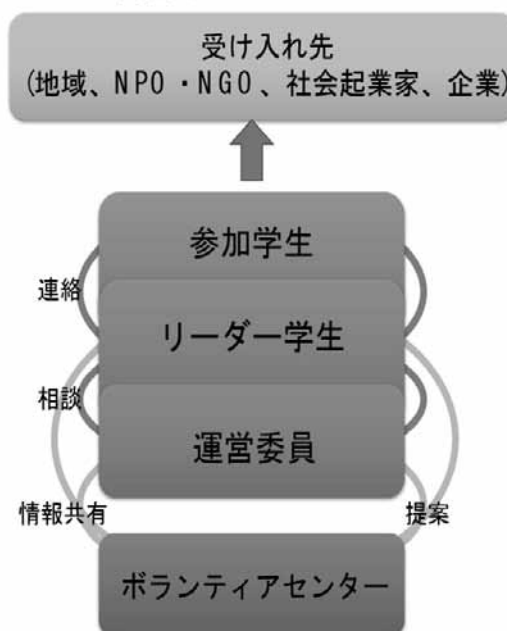
## 2. 1 Day for Others の内容

1 Day for Others には4つのコースがあり、学生は自分の興味がある中からそれぞれ選択できる仕組みになっている。

### (1) ボランティア(地域・福祉・教育)コース

このコースは、地域交流や福祉、子育てなどに関心のある学生が参加する。受け入れ先である「このはな草子」では学生がネパールの子どもたちに紙芝居をした。また、「放課後NPOアフタースクール」のプログラムに参加した学生は、障がい者と一緒にヨガをし、彼らが抱えている問題について学ぶことが出来た。「とつか区民活動センター」のプログラムでは、環境イベントのお手伝いを通して、地域の人たちと親睦を深め、普段大学で知り合う機会がない人たちと交流することで、新たな価値観や視点を獲得することができた。

1 Day for Others 組織図



## (2) ボランティア (国際協力・自然・環境) コース

このコースは国際支援や環境保護などの受け入れ先が集まっている。「NPO 法人 iPledge」のプログラムは「エコライフ・フェア 2014」というイベントのお手伝いとして参加したことで身近なゴミ問題について関心が生まれ、他のボランティア学生と楽しく活動した。国際的に児童買春問題に取り組んでいる「かものはしプロジェクト」に参加したメンバーは、日本では馴染みのないこの問題について理解することができた。

## (3) 社会起業家コース

このコースは、社会をよくするために働いている企業について学ぶ。「株式会社ユーズ」は、廃食油をリサイクルした商品を売っている会社で、参加者は地域を自転車でもわって油の回収作業を手伝った。また、廃食油を使った石鹸作りを社長から教えてもらい、体験することができた。

「株式会社オーク」のプログラムでは、学生が障がい者雇用について取り組んでいる日総びゅあとという会社取材しに行き、それを記事にした。学生自ら社長に取材するなど、多くの貴重な経験をすることができた。

## (4) 企業 CSR コース

このコースは、企業の社会的責任 (CSR) の一環として行われている事業について学ぶ。HIS のプログラムに参加したメンバーは、実際に学生が旅行プランを企画し、社員の方に、プレゼンすることによって、将来就職した時に必要な企画力や発表方法について学んだ。また、「アイエスエフネットグループ」のプログラムでは、就労困難となっている障がい者や引きこもりなどの社会問題を解決する活動を学生が体験した。



Y's farm

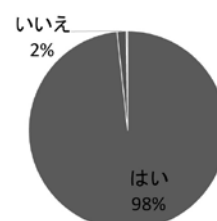


ふらっとステーションとつか

## 3. 成果

1 Day では毎年、プログラム実施後に参加学生へアンケートをおこなっている。右図は、今年度参加した学生に対し、1 Day に参加したことで何か得るものがありましたかというアンケート調査を実施したところ、98%の学生が肯定をして

参加して、何か得るものがありましたか？



いる。概要でも触れたが、1 Day は参加した学生それぞれに新たな気付きを見つけてもらうことを目的としておこなわれているので、このアンケート結果が、1 Day の「きっかけ作り」という一番の目的通りの成果をだせていると考えている。

#### 4. 反省・今後に向けて

今年度の1 Day には、リーダー学生を含めて556名が参加し、全62のプログラムを実施することができた。参加者は1、2年生が8割を占めており、学科では国際学科と社会福祉学科の学生の参加率が最も高かった。

参加後におこなったアンケート調査では、前途のとおりこのプログラムの目的である「新たな気づき」を何らかの形で得ることができている。また、プログラム内容の満足度についての回答は、97%の参加者が「満足している」と回答している。普段の生活では訪れることのない場所で、これまでにかかわったことのない人々と出会うことで得たものは今後の学生生活にもいろんな意味で影響を与えるものであったのではないかと考える。

今後の課題としては、2つ挙げられている。1つ目は、ボランティアに関心のない学生をどうやって惹きつけるのか、また、上級生にも参加してもらうにはどうしたらいいのかというターゲットの問題。2つ目は、リーダー学生向けの社会人マナー研修などの内容強化だ。今後も学生の目線からの改善も取り入れ、より多くの学生に、社会課題やボランティアを身近なものにしてもらいたいと思う。

#### 2014年度の実施状況

開催日程： 2014年6月の土曜日、日曜日を中心に実施。

ただし一部プログラムに関しては、以下日程で実施。

5月25日、28日、31日、6月5日、6日、10日、11日、12日、13日、16日、18日、19日、20日、25日、26日

プログラム数： 62

参加者数： 参加学生490名 リーダー学生66名（実リーダー数は63名） 合計 556名

共 催： 教養教育センター、校友センター、学生部、キャリアセンター、総合支援室

運営委員（学生メンバー）

国際学部国際学科

法学部消費情報環境法学科

法学部法律学科

## 1 Day for Others

### 「新しい」へ翔びだせ！－全てはここから－

2011年の秋に始まった1 Day for Others（以下1 Day）は4回目を迎え、ボランティアセンターの一大イベントになった。23プログラムからスタートしたものが、今では62プログラムとなり、学生が選択するのに迷うほどの多様なプログラムを展開している。今年度から1 Dayの概要、コースの説明、成果などは、1 Day運営委員（学生メンバー）が活動報告（P49-51掲載）としてまとめている。併せてリーダー学生、参加学生の声を次頁にて掲載しているので参考にされたい。

当イベントは年々規模が拡大し、既に12月から準備を始めている。受入先の選定に始まり、リーダー学生の決定には3ヶ月ほどの時間を要する。プログラム計画書の作成、受入先との調整などの役割を担うリーダー学生は立候補を中心に意欲のある人材が集まるが、受入先の方と初めてコンタクトをとることに戸惑い、悩む学生もいる。社会人と接する機会がこれまでなかった学生も多く、この貴重な機会を無駄にしないためにリーダー育成のマナー研修もコンパクトながら実施している。また、3月から4月の上旬にかけてプログラム計画の策定を中心とした学生の相談があり、多くの時間を費やすことになる。それに加えてプログラムの完成から公開までの期間が短いため、スタッフはシステムへの入力作業に追われる。これも6月開催の宿命である。

懸案であった「申込み」の簡素化については、シンプルで解り易いエントリーシステムを導入した。参加学生アンケート結果からは「エントリーシステムは使いやすい」とした学生が9割を超えていたので安堵した。その理由は、プログラム検索が容易になったことやスマートフォンからも簡単にアクセスできることが大きい。ゆったりとした環境で丁寧にプログラム内容に目を通して、あれやこれやと思案している姿が想像される。

システムが確立されて、プログラムへの一層の参加への期待が高まったが変化はあまり見られなかった。土日開催を中心とした魅力あるプログラムの開催が多くの学生の参加につながることは言うまでもない。しかし、様々な「社会問題・社会課題」に関心を示してくれるきっかけを提供するのは容易ではない。見て、聞いて、体験して、何かを感じることができる仕組みはリーダー学生のアイデアやセンター側の意向だけで作れるものではない。受入先の団体や企業の方の尽力なくしてプログラムの完成は難しく、言葉には表せないほど感謝をしている。受入先の皆さまの「1 Dayのありよう」は様々だが、共通していえるのは「社会を変える力」への期待であろう。学生が能動的にかかわることで多くの気づき、感動が生まれる。1 Dayが1日だけで終わることなく、継続的な取り組みにつながることで社会課題に向き合うことができる。学内外の多くのご支援をいただきながら1 Dayがさらに進化することを願っている。

(中山)

### 【参加学生の声（参加動機）】 申込書からの一部抜粋

- ・途上国の女性たちの悲惨さと、それを実際に援助している日本の女性たちの活躍をテレビで見て、どういう仕組みをとっているのか疑問だった。その女性たちの生活向上を支援する具体的な取り組みを知りたいと考えたため。
- ・最近祖母が脳梗塞で倒れ、様々な機能が失われた。その祖母の介護にも役立つと思った。
- ・普段もTwitterやFacebookを利用して、自分の感じた事を簡潔かつ的確に表現するために何が出来るかを考えている時にこの1 Dayを見つけた。
- ・卒業後の進路で悩んでおり、社会起業家から話を聞き、視野を広げたいと思った。
- ・「幸せを共有する」という経営理念に強く共感したため。
- ・国際学科に所属しており、貧困問題を考える機会も多い。発展途上国の中での経済的格差による貧困層に関しては情報収集が比較的たやすいが、自然災害や紛争などで難民となり貧困を生きる人の情報にはあまり触れる機会がなく興味深く思ったため。
- ・ドーナツ屋でアルバイトをしていて、廃棄になってしまう油がもったいないなど日頃から思っていた。今回、廃食油を再利用し、さらにそれがビジネスに繋がるということを知って興味をもった。
- ・「社会的に立場の弱い方を受け止め、採用することが企業の社会的責任」という企業理念に感銘を受け、もっと詳しく会社の取り組みについて知りたいと思った。

### 【リーダー学生の声（リーダーになって学んだこと）】 アンケートからの一部抜粋

- ・報告・連絡・相談の重要性やリーダーとしての心構え、受け入れ先への言葉遣いなど、今後社会で活躍していく上で非常に大切なこと。
- ・企業の方と一つのものをつくりあげる大変さを知り、CSR、地域企業との繋がりとは何かを知ることができた。
- ・志望動機やモチベーションの異なる学生たちを取りまとめることの難しさを学び、自分なりにリーダーとして工夫をした動き方ができるようになった。
- ・統率力の重要性、迅速な対応、形式的なメール文の打ち方、敬語などを意識すること。
- ・参加者が円滑にコミュニケーションを取れるように自分がどう立ち振る舞えばよいのかを考えた。
- ・計画を立てることの難しさや、受け入れ先との連絡の取りかたなどを通じて社会に出るとはどういうことかを学んだ。
- ・地域に根差した会社が存在することを知り学んだことで、就職の道はもう一つ広まった。
- ・受け身になると自分も楽しめない。自分の考えを出すことで先方との交渉がスムーズとなった。

## 【参加学生の声】 アンケートからの一部抜粋

### 《ボランティア》

- ・ 介護士は非常に大変な職業と考えていたが、利用者の笑顔を見たときは嬉しかった。実体験がこんなにも自分にプラスの経験になったのは初めてだった。
- ・ 自分がこれから何のために生きていこうか、これから先の理想や目標などが参加したことで見えてきた。自分にとって大きな第一歩を踏めたと思う。ここから自分の道を広げていこうと強く思った。
- ・ 楽しいだけでなく、環境や自分たちの生きる社会について改めて考えることができました。
- ・ これから多くの人に優しさの輪が広がるように行動したい。
- ・ 自分たちの行動が、直接インドへの支援資金となると実感できた。

### 《社会起業家》

- ・ 1Day for Others というが、1日では終わらないように継続的に学び、理解を深めることができるようなキッカケを得ることができた。
- ・ 自分が期待していたような体験が出来て、自分のためにも他人のためにも役立つスキルを学ぶことができて本当によかった。
- ・ 「新しい価値の創造」という現場に触れたことで、視野を広げられたように感じた。
- ・ さまざまな情報が溢れている社会において、すべてを鵜呑みせず、自分の意見をしっかり持つことが大切だとわかった。
- ・ 販売される前の品物の検品ということで責任を感じた。また、生産者の作る意図や気持ちを理解し、よりフェアトレードへの理解を深めることができたと思う。
- ・ 自分のキャリア形成、大学生活に対するヒントが得られた。

### 《企業CSR》

- ・ 「企業の社会的責任」と言われても今一つよくわからなかったが、企業が社会をよくできる仕組みが理解できた。
- ・ CSR活動の目的を知ることができ、かつ、様々な視点、発想から、モノやサービスを作り出していくことの面白さを実際の例をもとに詳細に話を聞いたのがよかった。
- ・ 人と関わる自分が自分にとってどれほど大切なことか考えさせられ、人のために何かをすることが自分の幸せに繋がると思った。
- ・ ローカリゼーションの重要性や地産地消と人とのつながりの重要性についてお話を聞き、とても勉強になった。現場で働いている方のお話は説得力があり、今までの考え方が変わった。

## 【参加学生の感想】

<株式会社 横浜ビール>

ローカリゼーションへ ～地元のビールを地元の食材と共に地元の方々へ～

地産地消から、三方よしの地域貢献

私は以前から地産地消や農家にとっても関心があったので、絶好の学びの機会になると思い、今回参加を決めた。プログラム当日、地域に根ざした経営をされている横浜ビールを訪問し社長から直々に会社の理念や目指すものを伺うことができた。また、現代人が忘れかけている人と繋がることの大切さ、横浜ビールが大切にしている地域や人との密接な関わりを肌で感じる貴重な体験をさせていただいた。

横浜ビールは桜木町から徒歩5分にあり、併設の「驛（うまや）の食卓」というレストランの1階にビール醸造所がある造りになっている。レストランで使用されている食材および調味料は、全て神奈川県内の作物であり、どこの誰が作ったものなのかがメニューを見れば一目瞭然であり安心できる。

当日は、横浜ビールがビールのフレーバーとして使用している日月桃（じつげつとう）という桃の生産者を訪問しに綱島へ向かい、桃が育つ過程のお話を伺った。傷のため出荷できない桃を、ビールのフレーバーとして利用することによって廃棄も出ないそうだ。他の店と明らかに異なる点は、生産者へ直々に赴き手渡しで生産物を受け取ることを何よりも大事にしているという点だ。

社長の経営理念である「地元横浜のビールを地元の食材と共に地元の方々へ」からも垣間見ることできるように、地域への恩返しが地産地消のレストランという形で実現されているのはとても魅力的なことだと思った。また、現代希薄になりつつある人と人との繋がりや会話を何より大切にして、生産者の思いを料理に込めることに力を注ぐ従業員の熱意は店内のお客様に伝わっていたと思う。そして、レストラン経営以外にも、「ふくしまカフェ」という場を提供し、原発事故後に福島から横浜へ避難されてきた方が自由に利用できるカフェ形式の交流スペースになっている。そこで作られた地産地消食材のお弁当を私たちは口にした。

5人という少人数のプログラムだったので、とてもアットホームな雰囲気でも質問もしやすく、非常に居心地のよい場であった。私は太田社長の会社に対する熱い思いを知った後に、近江商人の商いの理念である三方よし「売り手よし、買い手よし、世間よし」をふと思い出した。ただ利益のみを追求して売り手や買い手のみが得をするのではなく、それを少しでも地域に還元して社会をよくしたいといった思いが強く伝わり、人の絆と温かさを感じた。このようなお店があることで、地元をより好きになるきっかけ作りにもなり、益々自慢できる故郷・横浜になると思う。このプログラムを通じて地産地消のみでなく、地域を元気にする活動や企業の取り組みに益々興味が湧いた。また他の生産者のところへも訪問してみたいと思った。来年以降も引き続き1 Day for Othersで横浜ビールのプログラムが実施されることを願っている。本当にありがとうございました。

(国際学部国際学科 学生)

**【2014】1 Day for Others プログラムリスト**

No.	受入先名称	プログラムの名	日付	募集人数
1	戸塚区地域子育て支援拠点 とつとの芽	とつとの芽～子どもと触れ合おう！～	6/7	4名
2	特定非営利活動法人 ことぶき福祉作業所	日本三大「ドヤ街」の寿町で日本の格差問題を考えよう！	6/13	10名
3	横浜 YMCA ワークサポーターセンター「パン工房 Ange」	YMCA ワークサポーターの方と地域福祉のボランティア	6/14	4名
4	宗教法人 善了寺	デイサービス 還る家とともに ～“なごみ”の空間 1日体験～	6/14	4名
5	ことぶき学童保育	ことぶき学童保育 ～子どもたちとの関わりを通して、感じ、考えよう～	6/14	9名
6	世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホーム	老人ホームで、高齢者のお話を聞いたり、生きていることの素晴らしさについて考えよう！	6/14	5名
7	特定非営利活動法人 地域生活センター	こころのパリアスを飛びこえよう！ ～グループホームへ「おじゃまします！」～	6/7⇒雨天延期 6/28	9名
8	特定非営利活動法人 風の子会	障がい者の方々々と町に出掛けよう！	5/25	20名
9	株式会社 キッズベース キャンプ	キッズコーナとして子どもたちと関わるなかで、民間保育について知ろう!!	6/28	9名
10	社会福祉法人のびのび福祉会、社会福祉法人 江東楓の会 第三あすなろ作業所	障がい者支援に1日参加しよう	6/18	8名
11	社会福祉法人 杜の会 障碍者グループホーム	ご飯食べたり、遊んだり。～障碍者グループホームで過ごしてみよう～	6/14	9名
12	とつか区民活動センター	戸塚の人と交流しよう！～イベントとエコ活動を通じて～	6/14	5名
13	公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本	品川スチュウデントシティ～子どもたちの社会体験を支援する～	6/14	14名
14	このはな草子	新感覚の紙芝居で、日本とネパールの子どもたちと一緒に遊ぼう！！	6/20	5名
15	育みの家 フェアリーランド仲町台 (株式会社 フェアリーランド)	I Day for Others ～フェアリーランドで園児とふれあおう！～	6/11	4名
16	コミュニティスペース ふらっとステーション・とつか	「ふらっとステーション・とつか」で国際交流をしながらランチづくり体験	6/15	15名
17	特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール	障害をもつ子どもたちと、「ハンディキャップ・ヨガ」に挑戦しよう！	6/14	5名
18	スーパの会	新宿の路上で生活する人を訪ねる～スーパを配布する活動から、人とのつながりをつくる～	6/8	9名
19	国連ウィメン日本協会よこはま (旧:UN Womenよこはま)	国連ウィメン日本協会よこはま 途上国の女性を支援する活動を学び、PRするお手伝いをしよう！	6/21	6名
20	高津区市民健康の森を育てる会	身近なところに里山が！? 「高津区市民健康の森」の環境整備活動に参加しよう！！	6/14	14名
21	久地円筒分水サポータークラブ	住宅街にも国・登録有形文化財はある！円筒分水、広場の美化活動に参加しよう！！	6/21	9名
22	見沼田んぼ福祉農園	「環境福祉」を感じよう！見沼田んぼ福祉農園	6/14	14名
23	特定非営利活動法人 Café dela Terra	夏至 Candle Night 2014 ～LOVE IS THE MOVEMENT～	6/20	29名
24	特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター (JANIC)	MDGs ワークショップ 海外プロジェクト立案体験 ～貧困要因を考える～	6/7	20名
25	日本赤十字社 神奈川県支部	見る？知る？わかる！献血の基礎知識！やってみよう命をつなぐボランティア活動	6/15	14名
26	特定非営利活動法人 地球市民 ACT かながわ/TPAK	自分のできる国際協力の第一歩～チャリティーバザーで国際協力ボランティア～	5/31	4名
27	特定非営利活動法人 国際交流ハーレー・ポート南台	日本語教室で国際交流～日本語の学習&キッズケアを通してお互いの文化を知ろう～	6/13	7名
28	特定非営利活動法人 フリー・ザ・チャイルドレン・ジャパン (FTCJ)	Take an action day !!～インドに学校を建てよう～	5/31	5名
29	国際文化青年交換連盟日本委員会 (ICYE JAPAN)	世界の青年交流プログラムのお手伝いをしよう～ICYE JAPANの説明会準備と参加、オフィスの模様替え～	6/21	5名
30	NPO ipledge ①	エコライフ・フェア 2014～身近なエコ活動について知ってみよう！～	6/7	10名
30	NPO ipledge ②	エコライフ・フェア 2014～身近なエコ活動について知ってみよう！～	6/8	10名
31	株式会社 大地を守る会	100万人のキャンドルナイト～でんきを消して、スローな夜を。～	6/21	10名

【1】人とのつながりを実感！  
ボランティア（地域・福祉・教育など）

【2】世界・環境を支える活動を体験！  
ボランティア（国際協力・自然・環境など）

32	Y's farm	米という「命」を感じよう 無農薬米作りの作業体験	6/14	14名
33	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト	【かものはしプロジェクト～児童春問題を知らう！～】	6/14	10名
34	山下農園	みんな大好きトマトの出荷作業～実際に体験して学ぶ作業のおもしろさ～	6/29	2名
35	ミヤンマー祭り実行委員会	日本ミヤンマー外交関係樹立60周年記念イベント「ミヤンマー祭り2014」リアルなミヤンマーをもっと身近に！キヤラバン	6/7	8名
36	公益社団法人ブラン・ジャパン	世界の女の子の今と未来を考えよう！～途上国の女の子の現実と希望～	6/19	20名
37	フェアバーリサイクルネットワーク (FRN)	きもの・洋服でリサイクル！環境団体「フェアバーリサイクルネットワーク (FRN)」の一日活動体験	6/8	7名
38	特定非営利活動法人 アクシジョンポート横浜	あなたの知らない「ヨコハマ」を見てみよう！～横浜珍百景の旅&花時計の体験活動～	6/21	20名
39	横浜自然観察の森	自然の森へ、ホテル観察に出かけよう！	6/14	4名
40	特定非営利活動法人 ACE	チョコレートで子どもたちを笑顔に！ ～「バレンタイン一揆」上映会！アフリカ人によるユニークな語り！他にも面白そうなプログラムが盛りだくさん！～	6/26	15名
41	株式会社 ユーズ	エコ活動がビジネスに？ 天ぷら油で世界を変えるビジネスに触れよう！	6/21	6名
42	株式会社 オーク	環境 WEB マガジン ECOLOCO 体験ルポを通じたWEB編集作業・情報発信活動	①6/6 ②6/14	5名
43	公益社団法人 難民起業サポートファウンド	難民問題を考える～ミヤンマー料理を通して～	6/7	10名
44	株式会社 アットマーク・ラーニング	親コーチング研修～親子の信頼関係を築くために～	6/14	19名
45	株式会社 マザーハウス	ものづくりでつながる笑顔の輪～商品の「向こう側」と出会う～	6/19	30名
46	株式会社 オルトナ	文章力をグレアドアップ！ ～Twitter&Facebook 編～	6/21	11名
47	株式会社 スフン	障害のある方たちとともに働くことを考える	6/16	5名
48	第3世界ショップ / 株式会社 プレス・オールターナティブ	第3世界ショップができるまで～生産者の思いに直接ふれる～	6/14	6名
49	特定非営利活動法人 ETIC. 横浜ブランチ	マイテーマを定めてキャリアを築く～社会起業家からのメッセージ～	5/28	10名
50	ARUN 合同会社 (ARUN LLC.)	社会的投資とは？実際に現場で感じてみよう！	6/14	4名
51	日野ハーモニー 株式会社	現場体験で学ぶ、障がい者がはたらくということ	6/10	4名
52	株式会社 資生堂	CSR 活動を通して化粧の力を実現しよう	6/16	17名
53	株式会社 エイチ・アイ・エス	テーマ別につくるスタディツアーのプランニングとプレゼン～国内・国外における様々な視点から旅を創ろう～	6/7	60名
54	株式会社 大川印刷	みんなであつなげよう CSR の和 ～『共有価値創造』～	6/18	14名
55	NEC (日本電気 株式会社)	イノベーションで笑顔あふれる社会に ～NECの社会貢献活動を学ぼう！～	6/25	19名
56	アイエスエフネットワークグループ	～就労困難な人は沢山いる～社長から直接聞く、就労支援～	6/12	20名
57	千代田化工建設 株式会社	千代田化工建設で自分の可能性を広げよう～企業と学生の考える Do for Others～	6/18	19名
58	石井造園 株式会社	Give & Take! ～いざ CSR の世界へ～	6/21	4名
59	ソニーマーケティング 株式会社	社会貢献につながる商品・サービスを企画しよう。@SONY	6/5	30名
60	株式会社 イオンフォレスト (ザ・ポデイショップ)	～手と手から生まれるつながり～本格ハンドマッドサーサージュ体験	6/11	11名
61	株式会社 セールスフォース・ドットコム	IT 企業だからできる社会貢献！？ ～丸の内のオフィスを訪問&昼食会&ボランティア活動に参加～	6/18	5名
62	株式会社 横浜ビール	ローカリーゼーションへ～地元のビールを地元の食材と共に地元の方々へ～	6/14	4名

【2】 世界環境を支える活動を体験！  
ボランティア (国際協力・自然・環境など)

【3】 ビジネスで社会課題に挑戦！  
【社会起業家】

【4】 事業を活かして社会貢献！  
【企業CSR】